

よりそう

Side by Side

2011.10.7(金)
100 号準備号②
編集責任: ナムラ

岩手のみなさん、ありがとう

Lisa (Yorkshire, UK)



「いいとこ、いい人。」それは遠野まごころネット、そして岩手全体としての私の圧倒的な印象でした。私は9/21～23の間、あっという間の3日間でしたが遠野に滞在することが出来ました。

私の国はイギリスですが、国籍に関係なく、個人でも短期であることにもかかわらず、ボランティア活動に参加させていただき、本当に感謝し、うれしく思っています。

うれしいといっても、3日目に瓦礫撤去のためにバスで陸前高田へ入った瞬間、決して笑顔はなかったですね。一日、わずか数時間での活動が何とか役に立てればと思いながら、いろんなものを泥の中から拾いながら、その地域の亡くなった方や今も一生懸命生きている方のために祈りました。

でも、他のところで岩手の素敵な笑顔がバッチリ見えてきましたよ！私の下手な日本語や微妙なお茶の入れ方をもあたたく受け入れて、おしゃべりしてくれた(カラオケまで歌ってくれた!)大船渡の仮設住宅の皆さんのこと、そして台風の中でも一日中活動を頑張っていたボランティアさんにも感動しました。

岩手県の皆さん、ありがとう。兄妹のボランティアさんたち、これからは寒くなると思いますが、元気よく活動を続けてください。イギリスからも応援して、お祈りしています！

I wasn't sure if a mere 3 days in Tohoku would make any difference... But it certainly did, at least to me. I was privileged enough to be able to volunteer for 3 days in late September during a solo visit to Japan. There was so much energy and determination, so much good will and generosity, so many kind hearts and a warm welcome awaiting me - and that even before you take all the volunteers into account! I was so

impressed by the people of Iwate, and couldn't help but admire the resilience of those we visited who are living in temporary housing in the Ofunato area. Those who joined us for the Café events we hosted showed so much grace, gratitude, forbearance and humour (and even the odd bit of karaoke) that I'm sure I learned more than I was able to give! My final day was spent in Rikuzentakata, clearing and sorting rubbish from the muddy paddy fields, and I'm still left overwhelmed by the scene and scale of damage... I was however surrounded by the warmth and good conversation of others from around the country (and around the globe) taking time out from work, studies, home and family to join in the volunteer effort. Thank you for having me, Iwate. God grant you ever more strength, comfort and fellowship in the days and months ahead. And to the volunteers who still have much to do and as the weather gets colder, as we say in the UK, "Chin up!" Lisa (英文、日本文共に本人執筆)

<編集追記>リサさんはイギリス・ヨークシャー出身、日本に住んでいたこともあり、完璧な日本語と日本文化への深い造詣で時々外国の人と話していることを忘れるくらいでした。今回は日本を旅行中の3日間を使い遠野に滞在、はじけるような笑顔と暖かく楽しい性格のリサさんは、どこにいてもいつも周りを明るくしてくれました。タッピングタッチ、海外にも広めてくださいね！

まごころの郷づくりレポート Vol.3 寄稿: 宮本班長

10月4日 朝の時点で参加者0、今日は一人かと腹をくくっていましたが朝礼の呼び掛けで3人募集に応じてくれました。一人は昨日参加した人がリクルートしてくれたんだそうです。結局計4人で行きました。



岡山の倉敷から来てくれたKさん、なんと高校の園芸科卒で造園屋さんに勤めていたという経歴の持ち主、(うら若き女性ですよ) みごとな手つき腰つきで耕して、素晴らしい畑を作ってくださいました。段違いの出来です。

今日は他にウッドデッキ(濡れ縁)造りの第一歩として既設のプレハブ小屋のかさ上げと水平出しをしました。明日から棟梁が来てくれて建築工事も開始です。

結局昨日と同じ50㎡を耕しました。明日の参加を夜のミーティングで呼びかけたところ、7人も手を挙げてくれました。お一人はありがたい事にご自分の車を出していただける事になりました。

連日の作業でだいぶヘロツてきましたが、明日も頑張るぞ。(正直薪づくりよりエライです..) (続)